

令和 6 年 6 月 12 日現在

機関番号：23102

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00555

研究課題名（和文）方言分布の総合と比較による言語変化の動態解明

研究課題名（英文）Clarifying Processes of Language Change by Integrating and Comparing Dialectal Distributions

研究代表者

福島 秩子（Fukushima, Chitsuko）

新潟県立大学・その他・名誉教授

研究者番号：80189935

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,800,000円

研究成果の概要（和文）：言語の多様性のありさまと変化のプロセスについて分析追求するために、多様な言語データを地図化し、関連する分布を総合・比較した。『アジア言語地図』における「太陽」の分布について発表した。『アジア・アフリカ言語地図』において「キョウダイ名」を担当した。個別の体系に割り当てる記号の提案を行うとともに、日琉諸語の地図化を行った。アジア・アフリカにおける体系別の分布について解釈を行った。新潟県における形容詞の特殊形式（例：「赤い」アーク）に注目し、各種方言資料を基に地図化し解釈を行った。裂き織りの名称と指示物について、方言資料や民俗資料を基に地図化し、分布の生成過程について考察した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アジア・アフリカという広域にわたる言語地理学に挑戦し、成果を得た。「太陽」のような語彙の分布の他、類型論的な項目について広域分布を概観し、変化の過程について解釈を行うことができた。一方、新潟県という狭域の方言特徴について、様々な方言資料を用いて分布を示すことができた。裂き織りの名称だけでなく指示物の全国分布をあわせて考察することで、民俗的事象の変化の過程を明らかにすることができた。日本の言語地理学研究に資する発表を行うとともに、言語資源の空間接続プロジェクトに参加した。貴重な方言資料の保存に努めた。

研究成果の概要（英文）：In order to examine the geographical variation of language and the process of change, I mapped various linguistic data and integrated or compared related distributions. 1) I presented on the distributions of “sun” in Linguistic Atlas of Asia. 2) I was in charge of the analysis of “sibling” terms in Linguistic Atlas of Asia and Africa. I proposed symbols for each system of “sibling” terms and was in charge of the analysis of Japonic. I interpreted the distributions of the systems spanning over one continent. 3) I made dialect maps in Niigata focusing on a special adjectival form (ex. a:ke < akai “red”) using various dialectal data and interpreted them. 4) I made maps of names and referents of sakiori “rip weaving” all over Japan using dialectal and folklore data and interpreted how the distributions were made.

研究分野：言語学

キーワード：言語地理学 方言 アジア・アフリカの言語 キョウダイ名 新潟方言 形容詞の特殊形式 裂き織り  
民俗地図

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

(1) 言語地理学は言語史の研究法の一つであり、言語地図に表わされた言語事象の分布を解釈することで、「その地域でどんな言語変化が起きたのか」を読み解こうとする。研究代表者は1983年にパソコンを利用した言語地図作成プログラム SEAL を開発、マニュアルを出版、プログラムを公開・更新するとともに、日本語や英語の方言資料を分析し「パソコンによる言語地理学」を実践してきた。最近、GIS (地理情報システム) を活用した様々な GIS ソフトを使って地図化を行っている。2015-2017 年度には、アジアという広域における言語地理学を実践する共同研究に参加し、『アジア言語地図』の刊行に貢献した。

(2) 当初3年間の予定だったが、コロナ禍にあたり、2年研究期間を延長した。

2. 研究の目的

本研究では、言語の多様性のありさまと変化のプロセスを明らかにするため、関連する方言分布を総合・比較する。

3. 研究の方法

(1) 言語変化の軌跡を跡づけ、変化の進行状況を捉えるために、多様なデータを地図化する。

言語地理学調査データのみならず、方言辞典なども活用してデータ化し、緯度経度情報を付加することで地図化が可能となる。また、言語資料ばかりでなく、民俗資料を地図化する。方言データばかりでなく、アジア・アフリカと言った広域の言語・言語群のデータを地図化する。

(2) 研究代表者が SEAL による言語地理学研究で培った方言分布の総合と比較の方法を、新たなデータに適用して研究を推進する。

「総合する」とは、同じ言語特徴が別の言語項目に現れる場合などに地点ごとにその言語特徴を数え、その数値を地図上に表すことである。「比較する」対象は、関連する言語特徴の分布、類似した分布を示す別項目の分布、同じ項目の異なる時代の分布、などである。

4. 研究成果

(1) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA 研)の共同利用・共同研究課題「アジア地理言語学研究」(jrp000210)(2015-17年度)において、「太陽」の項目のコーディネーターをしたことから、『アジア言語地図(LAA)』と『ヨーロッパ言語地図』における「太陽」の項目の分布の比較について発表を行った。また、アジアにおける「太陽」の分布の特徴と新たに作図した日本語の「太陽」の方言分布に注目して執筆を行った。

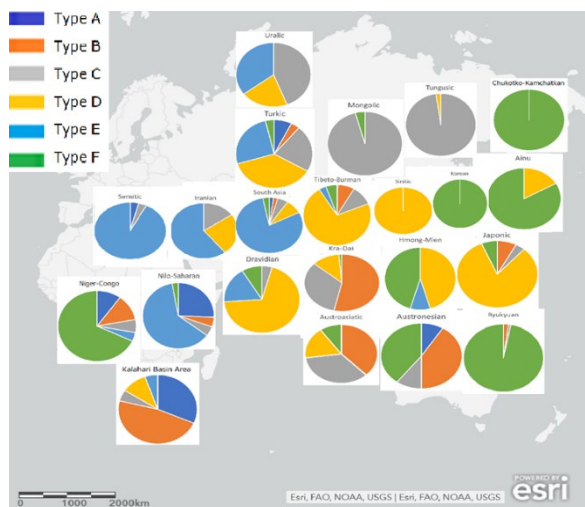


Fig. Types of sibling term systems in Asia and Africa

(2) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA 研)の共同利用・共同研究課題「アジア・アフリカ地理言語学研究」(jrp000256)(2020-22年度)において、「キョウダイ名の体系」のコーディネーターをすることになったため、日本語・琉球語におけるこの項目に関わる地図化を試行した。共同研究が始まると、キョウダイ名の諸体系を示して個別の体系に割り当てる記号の提案を行い、自らは日琉諸語 Japonic を担当した。

『アジア・アフリカ言語地図(LAAA)』の刊行にあたり、当該項目の体系別の分布を概観し、歴史的变化について推定した。この研究については、ルーマニアのブカレスト大学で開かれた SIDG10(第10回方言学・地理言語学国際会議)にて発表し、DiG に投稿して掲載された<sup>①</sup>。また、LAAA の第三巻目の編集に関わった<sup>②</sup>。>右上の図

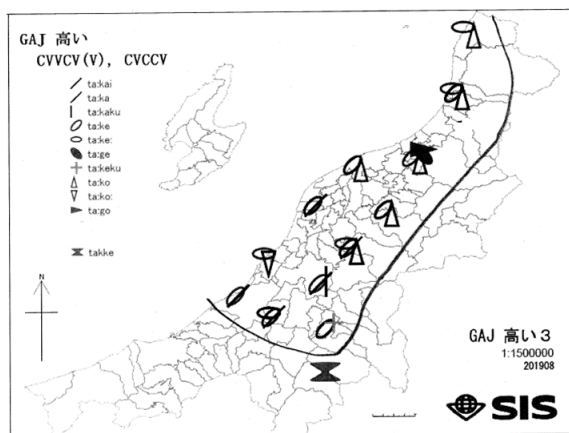


図 GAJ 「高い」長音型・促音型の総合

(3) 新潟県における形容詞の特殊形式(例:「赤い」アーケ)に注目し、福嶋による短大生の方言調査、各種方言地図や方言集に基づいて地図化を行い、その分布の把握に努め、県内の地域差についてまとめて方言の変化について解釈を行った。言語地図の作成には、SIS もしくは Seal を用いた<sup>③</sup>。>右下の図

(4) 裂き織りの名称と指示物について、方言資料（ジャパンナレッジ『日本国語大辞典』）や民俗資料（特に『日本民俗地図』VIII 衣生活）を基に地図化を行い、分布の生成過程について考察し、研究発表や論文発表を行った<sup>④</sup>。下の2図

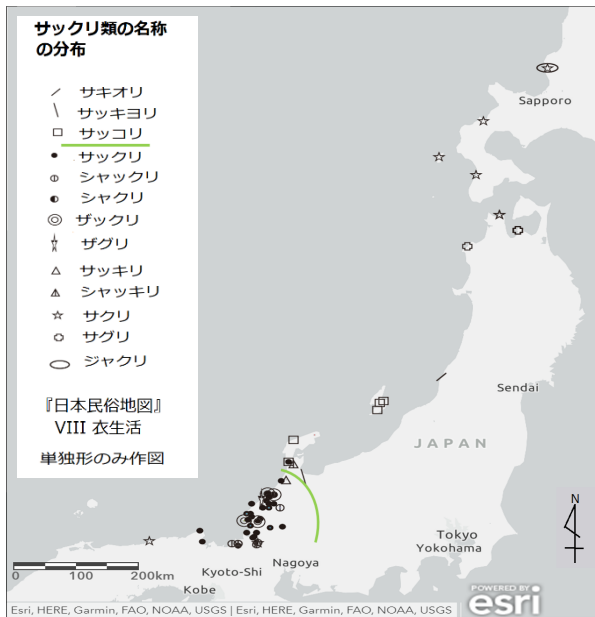


図 サックリ類の名称の分布：『日本民俗地図 VIII 衣生活』



図 サックリ類の指示物の分布：『日本民俗地図 VIII 衣生活』

(5) 日本の言語地理学に資する貢献

本研究期間の前に行われたリトアニアでのSIDG9におけるワークショップ Bridging East and West: Grootaers, Sibata and beyond を *Dialectologia* の Special Issue としてまとめることになり、論文化したものが公刊された。日本における言語地理学の勃興期に柴田武教授が果たした役割に焦点をあてた論文を執筆した。これまでの私の言語地理学についてふりかえり、LAS (瀬戸内海言語地図) 科研の会合で講演を行った。2022 年度から国立国語研究所の大西拓一郎教授がリーダーの言語資源の空間接続プロジェクトに参加し、研究会に出席するとともに、公開研究会で発表した。

(6) 方言資料の保存

出雲西南部言語調査の調査地点を整理し、緯度経度情報を加えた。北部三町村の方言分布を公表した三冊の言語地図（次段落参照）のPDF化を行った。今後、所蔵している貴重な方言資料の保存の方法をさらに探るつもりである。

なお、国立国語研究所の大西拓一郎教授が作成している言語地図データベースに、柴田武・福嶋秩子『出雲飯石郡中央部言語地図一昭和54年度調査資料から』、福嶋秩子『三刀屋町の方言一昭和55年調査資料による言語地図集一』、福嶋秩子『吉田村の方言一昭和55年調査資料による言語地図集一』、福嶋秩子『佐田町の方言一昭和55年調査資料による言語地図集一』が2023年6月に登録された。

<引用文献> ① Chitsuko Fukushima, 2023, Geographical variation of systems of 'sibling' terms in Asia and Africa, *Dialectologia & Geolinguistics* (DiG) 31 (2023), 41-54. <http://doi.org/10.1515/dialect-2023-0003> ② Chitsuko Fukushima, Satoko Shirai, Mika Fukazawa, Hiroyuki Suzuki, and Mitsuaki Endo (eds), 2023, *Linguistic Atlas of Asia and Africa 3*, Geolinguistic Society of Japan. <https://doi.org/10.5281/zenodo.8374597/> ③ 福嶋秩子 2019 「LAJ・GAJに見る新潟方言の形容詞」第88回新潟県方言研究会 令和元年8月25日 ④ 福嶋秩子 印刷中「裂き織り・サックリの分布図を読む一名称と指示物の分布、多様な裂き織りの視点から一」国立国語研究所論集に掲載予定

主な発表論文等（研究成果のまとめの順に配置した）

〔雑誌論文〕（計12件）

- ① Chitsuko Fukushima, Sun in Asia: Comparison with ALE, In: Endo, M., & Ueda, H. (2019) Proceedings of the First Annual Meeting of the Geolinguistic Society of Japan, Zenodo, 2019, pp. 5-8 <https://doi.org/10.5281/zenodo.4505652>
- ② 福嶋秩子、アジア言語地図の「太陽」と日本語方言学、東京外国語大学 AA 研、FIELDPLUS、No. 26、2021、pp. 4-5 <http://repository.tufs.ac.jp/handle/10108/116855>
- ③ 福嶋秩子、日本語における「キョウダイ名」、日本地理言語学会、地理言語学研究、No. 1、

2021, pp. 115-122 <https://doi.org/10.5281/zenodo.5529312>

- ④ 福嶋秩子、日本語における「兄弟姉妹」を表す総称の分布、日本地理言語学会、地理言語学研究、No. 2、2022、pp. 126-132 <https://doi.org/10.5281/zenodo.7122479>
- ⑤ Chitsuko Fukushima, Overview of system of 'sibling' terms in Asian and African languages, In: C. Fukushima et al. (eds) Linguistic Atlas of Asia and Africa 3, Geolinguistic Society of Japan, 2023, pp. 3-8 <https://doi.org/10.5281/zenodo.8374597/>
- ⑥ Chitsuko Fukushima, System of 'sibling' terms in Japonic, In: C. Fukushima et al. (eds) Linguistic Atlas of Asia and Africa 3, Geolinguistic Society of Japan, 2023, pp. 13-18. <https://doi.org/10.5281/zenodo.8374597/>
- ⑦ Chitsuko Fukushima, Interplay of Phonological, Morphological, and Lexical Variation: Adjectives in Japanese Dialects, Languages, 査読有, 2019 4(2), 2019, p. 31 – <https://doi.org/10.3390/languages4020031>
- ⑧ Chitsuko Fukushima, How Rip Weaving spread in Japan: Interpreting Maps of Words and Referents, Proceedings of the fifth International Congress of Asian Geolinguistics, Geolinguistic Society of Japan, pp. 84-96 DOI: <https://doi.org/10.5281/zenodo.8374597>
- ⑨ Chitsuko Fukushima. 2023e. Geographical variation of systems of 'sibling' terms in Asia and Africa. Dialectologia & Geolinguistics (DiG) 31 (2023), 41-54. <http://doi.org/10.1515/dialect-2023-0003>
- ⑩ 福嶋秩子、2023、サクリの分布図を読む、新潟県生活文化研究会、新潟の生活文化、No. 29、2023、pp. 7-10
- ⑪ 福嶋秩子、織物の素材の全国分布—裂き織りとの関連で—、新潟県生活文化研究会、新潟の生活文化、2024、No. 30、pp. 8-11
- ⑫ Chitsuko Fukushima, Towards interlingual dialectology: Takesi Sibata, Dialectologia Special Issue VIII, 査読有, 2019, pp. 15-28 <http://www.publicacions.ub.edu/revistes/dialectologiaSP2019/>

[学会発表] (計 12 件)

- ① Chitsuko Fukushima, Theoretical Framework for Systems of 'Sibling' Terms, AA 研共同研究発表会, 東京外国語大学, オンライン, 2022
- ② Chitsuko Fukushima, Systems of Sibling Terms in Japonic, AA 研共同研究発表会, 東京外国語大学, オンライン, 2022
- ③ Chitsuko Fukushima, Overview of the Systems of 'Sibling' Terms, AA 研共同研究発表会, 東京外国語大学, オンライン, 2023
- ④ Chitsuko Fukushima. The geographical variation of the system of 'sibling' terms in Asia and Africa, SIDG 10, University of Bucharest, Bucharest, Romania, 2023
- ⑤ 福嶋秩子、LAJ・GAJ に見る新潟方言の形容詞、第 88 回新潟県方言研究会、2019
- ⑥ 福嶋秩子、渡辺富美雄編『新潟県方言辞典』に見る新潟方言の形容詞、第 89 回新潟県方言研究会、2021
- ⑦ 福嶋秩子、『新潟県言語地図』「高く (なる)」「安く (なる)」の分布から見えてくるもの、第 90 回新潟県方言研究会、2021
- ⑧ 福嶋秩子、サクリの分布図を読む、新潟県生活文化研究会 2022 年度大会、オンライン、2022
- ⑨ 福嶋秩子、裂き織り・サクリの分布図を読む、国立国語研究所空間接続プロジェクト公開研究会、国立国語研究所、ハイブリッド、2023
- ⑩ Chitsuko Fukushima, How Rip Weaving Spread in Japan: Interpreting Maps of Words and Referents, the fifth International Conference of Asian Geolinguistics (ICAG-5), the University of Social Sciences and Humanities, VNU, Ha Noi, Vietnam, 2023
- ⑪ 福嶋秩子、新潟県における裂き織りと刺子の分布: 名称と指示物、第 97 回新潟県方言研究会、2024
- ⑫ 福嶋秩子、「意味のある方言分布」を探し求めて、LAS (瀬戸内海言語図巻) 科研 2022 年度 9 月会合、招待あり、県立広島大学、オンライン、2022

[図書] (計 2 件)

- ① Mitsuaki Endo et al., *Linguistic Atlas of Asia*, Hituzi Syobo, 2021 ('Sun' in Asia を分担執筆)
- ② Chitsuko Fukushima et al. (eds), *Linguistic Atlas of Asia and Africa 3*, Geolinguistic Society of Japan, 2023 <https://doi.org/10.5281/zenodo.8374597/>

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 福島秋子	4. 巻 27
2. 論文標題 裂き織り・サックリの分布図を読むー名称と指示物の分布、多様な裂き織りの視点から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 国立国語研究所論集	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 福島秋子	4. 巻 30
2. 論文標題 織物の素材の全国分布 裂き織りとの関連で	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 新潟の生活文化	6. 最初と最後の頁 8～11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻
2. 論文標題 How rip weaving spread in Japan: Interpreting maps of words and referents	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the fifth International Congress of Asian Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 84～96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5281/zenodo.8382130	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻
2. 論文標題 Overview of system of 'sibling' terms in Asian and African languages	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia and Africa-3 (LAAA-3) (edited by Chitsuko Fukushima et al.)	6. 最初と最後の頁 3～8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5281/zenodo.8374597	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻
2. 論文標題 System of 'sibling' terms in Japonic	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Linguistic Atlas of Asia and Africa-3 (LAAA-3) (edited by Chitsuko Fukushima et al.)	6. 最初と最後の頁 13~18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.8374597	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima Chitsuko	4. 巻 31
2. 論文標題 Geographical variation of systems of sibling terms in Asia and Africa	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Dialectologia et Geolinguistica	6. 最初と最後の頁 41~54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/dialect-2023-0003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福島秩子	4. 巻 35
2. 論文標題 新潟県方言の形容詞の特殊形式の分布	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ことばとくらし	6. 最初と最後の頁 左1~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福島秩子	4. 巻 29
2. 論文標題 サックリの分布図を読む	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新潟の生活文化	6. 最初と最後の頁 7~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 福嶋 秩子	4. 巻 2
2. 論文標題 日本語における「兄弟姉妹」を表す総称の分布	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地理言語学研究	6. 最初と最後の頁 126 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.7121605	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福嶋 秩子	4. 巻 26
2. 論文標題 アジア言語地図の「太陽」と日本語方言学	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 フィールドプラス 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 [編]	6. 最初と最後の頁 4 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/116855	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福嶋 秩子	4. 巻 1
2. 論文標題 日本語における「キョウダイ名」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地理言語学研究	6. 最初と最後の頁 115 ~ 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.5529312	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福嶋 秩子	4. 巻 1
2. 論文標題 地理言語学関連の国際ジャーナル紹介	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地理言語学研究	6. 最初と最後の頁 142 ~ 146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.5529352	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻 4
2. 論文標題 Interplay of Phonological, Morphological, and Lexical Variation: Adjectives in Japanese Dialects	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Languages	6. 最初と最後の頁 31~31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/languages4020031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻 Special Issue 2019
2. 論文標題 Bridging East and West: Grootaers, Sibata and beyond	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dialectologia	6. 最初と最後の頁 1~4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻 Special Issue 2019
2. 論文標題 Towards interlingual dialectology: Takesi Sibata	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dialectologia	6. 最初と最後の頁 15~28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chitsuko Fukushima	4. 巻 -
2. 論文標題 Sun in Asia: Comparison with ALE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the First Annual Meeting of the Geolinguistic Society of Japan.	6. 最初と最後の頁 5~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.450562	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



〔学会発表〕 計17件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 新潟県における裂き織りと刺し子の分布：名称と指示物
3. 学会等名 第97回新潟県方言研究会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 続・サクリの分布図を読む
3. 学会等名 新潟県生活文化研究会2023年度大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 The geographical variation of the system of 'sibling' terms in Asia and Africa
3. 学会等名 SIDG 10, University of Bucharest, Bucharest, Romania (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 How rip weaving spread in Japan: interpreting maps of words and referents
3. 学会等名 The fifth International Conference of Asian Geolinguistics (ICAG-5), the University of Social Sciences and Humanities, VNU, Ha Noi, Vietnam (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 裂き織りの名称とその表すもの：新潟に焦点をあてて
3. 学会等名 第96回新潟県方言研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 Overview of the Systems of 'Sibling' Terms
3. 学会等名 東京外国語大学AA研「アジア・アフリカ地理言語学研究」研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 裂き織り・サククリの分布図を読む
3. 学会等名 国立国語研究所言語資源の空間接続プロジェクト公開発表会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 Theoretical Framework for Systems of 'Sibling' Terms
3. 学会等名 東京外国語大学AA研「アジア・アフリカ地理言語学研究」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 Systems of Sibling Terms in Japonic
3. 学会等名 東京外国語大学AA研「アジア・アフリカ地理言語学研究」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 「意味のある方言分布」を探し求めて
3. 学会等名 LAS(瀬戸内科言語図巻)科研2022年度9月会合(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 サククリの分布図を読む
3. 学会等名 新潟県生活文化研究会2022年度年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福島秋子
2. 発表標題 「兄弟姉妹」を表す総称とキョウダイ名の体系
3. 学会等名 第91回新潟県方言研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福嶋秋子
2. 発表標題 日本語における「キョウダイ名」の体系：その分布と変化
3. 学会等名 新潟県生活文化研究会2021年度年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福嶋秋子
2. 発表標題 『新潟県言語地図』「高く(なる)」「安く(なる)」の分布から見えてくるもの
3. 学会等名 第90回新潟県方言研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福嶋秋子
2. 発表標題 渡辺富美雄編『新潟県方言辞典』に見る新潟方言の形容詞
3. 学会等名 第89回新潟県方言研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福嶋秋子
2. 発表標題 LAJ・GAJに見る新潟方言の形容詞
3. 学会等名 第88回新潟県方言研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chitsuko Fukushima
2. 発表標題 Sun in Asia: Comparison with ALE
3. 学会等名 1st Annual Conference of the Geolinguistic Society of Japan
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Mitsuaki Endo et al. ed	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Hituzi Syobo	5. 総ページ数 376
3. 書名 Linguistic Atlas of Asia	

〔産業財産権〕

〔その他〕

言語地理学のへや <a href="https://www.unii.ac.jp/chitsuko/inet/">https://www.unii.ac.jp/chitsuko/inet/</a>
---

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------